

浪速製菓(株)

本巣市・菓子製造業

従業員数 / 男性11名 女性14名 計25名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①「多能工」制度導入により有休を取得しやすい環境を整備
- ②個別面談を通じ柔軟な働き方を支援
- ③家族参観日で職場理解を促進



労働時間短縮や残業の免除など個々の事情に合わせた勤務形態を導入。

1927年の創業以来、昆布を原料にした「こんぶ飴」をはじめ、各種の飴菓子製造を手掛ける浪速製菓。全員を正社員として雇用しており、働き手を大切にする企業姿勢から、社員間にも互いに支えあう風土が醸成されている。さらに「多能工」制度を取り入れ、担当部署以外の業務にも対応できるように教育を実施したことで、社員のスキルアップが図られ、働く意欲の向上につながっている。同制度の導入により、年次有給休暇を気兼ねなく取得できるようになり、急な欠勤や長期休業への対応も可能となった。

助け合いの風土で有休取得の定着へ

年次有給休暇は製造計画の都合、上事前申請制としているが、急な対応が必要な家族がいることを事前に申し出ること、予定外であっても休暇を取得することができ、看護休暇は中学卒業まで取得可能とし、介護休暇は介護認定の有無に関わらず柔軟に対応することで、社員が安心して休める環境を整えている。

育児・介護に関わらず、短時間勤務など柔軟な働き方ができる環境も整備しており、相談があった際には可能な限り本人の意向に沿った勤務ができるよう努めている。「娘が里帰り出産をするので1か月月休を取ってほしい」「1か月、午前みの出勤にしたい」「病氣入院後に復帰したいが、体を慣らすため段階的に勤務時間を増やしたい」「子どもの習い事のため、週1回1時間の時短勤務をしたい」などの個別の申し出にも対応している。

また職場への理解を深め、社員同



仕事と家庭の両立を支援し、働きやすい職場づくりに取り組む。

士の絆を強化することを目的として、家族を会社に招待する「家族参観日」を約30年ぶりに復活。社会情勢を踏まえ、屋外での開催とし、キッチンカーを招いて飲食やゲームを楽しむ場を設けた。今回は子どもを中心とした内容となったが、今後は親やパートナーとの交流も図れるよう検討しており、家族を含めた交流を通じて、気持ちよく互いを助け合える関係が続いていくよう力を入れていく。